

白河市行政改革推進委員会 令和2年度第1回委員会会議録（要旨）

日 時	令和2年11月19日（木） 午後1時30分～午後2時30分
場 所	白河市役所 第一委員会室
出席者	委員7名 和知裕幸委員長、入谷みちこ委員長職務代理者、芳賀幸子委員、鈴木長一委員、市川淳一委員、小磯厚子委員、三浦徹委員
白 河 市	4名 鈴木総務部長、鈴木経営改革推進室長、久保経営改革推進室長補佐兼係長、坂上主査
<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 部長あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>■議事1： 白河市行政経営改革プラン（令和2年度～令和4年度）進捗状況について 【事務局より説明】</p> <p>委 員 公共施設のオンライン予約システムはどこにどのように表示されるのか。</p> <p>事務局 市のホームページなどに分かりやすいボタンで表示することを想定している。また、利用できるようになる場合は、ホームページ以外にも広報紙などで周知する。</p> <p>委 員 支払いまでオンラインでできるようになるのか。そうなれば、非常に利用しやすいと考えられる。</p> <p>事務局 現段階では、支払いまではできない仕様となり、基本的には予約状況が確認できて予約ができる機能となっている。最終的には委員が言われる支払決裁までできると便利とは考える。</p> <p>委 員 ビジネスチャットのセキュリティはどのように担保されるのか。LINEと同じレベルでは役所のセキュリティとしては弱いのではないかと。</p>	

事務局 自治体で利用する独自ネットワークにLGWANというものがあり、通常のインターネットには触れない回線がある。今回導入をしようとしているチャットはそのLGWAN回線も利用できるため、その回線上はセキュリティが担保されている。

委員 ICT関係の改革が進んでいることが分かった。来年度にはデジタル庁が創設され更なるデジタル化が進むと考えられる。そこで、人材育成が重要となる。

事務局 言われるとおりで、現在国からデジタル専門員の派遣の調査なども来ている。また、RPA等を導入するにあたっては、単純なソフトの利用効果だけではなく、職員が対応していけるのかも併せて検証している。デジタル化が進む中、職員の資質向上がカギとなる。

委員 子どもの教育の部分でのICT化はどのように進んでいるのか。

事務局 GIGAスクール構想により、児童ごとにタブレットを整備することを進めており、タブレットを利用した授業を行うようになる。

委員 外国と比較するとICT教育が遅れているようなので、子どもの教育も重要となる。また、授業を行う方も、ICTをうまく対応しないと教育に差が出てしまう。

委員 アフターコロナプロジェクトチームではどのようなことをやっているのか。

事務局 コロナ禍においてテレワークが進み、どこでも仕事ができるようになっている。その中で、地方への移住の意向も高まっており、従来から問題となっている人口減少に対応するため、この機が重要ととらえ、特別な政策を考えている。

委員 テレワークが進んでいる中、自分も試行してみた。市の事業でテレワークやWEB会議のやり方などを市民に広める事業などもあっていいのではないかな。

事務局 商工課でその趣旨の事業もあるが、今の時代には必要だと考えられる。

委員 職員提案による改善意識を高めることは非常によいことだと思う。仕事に向かう姿勢は重要である。

委員 ハンコレスに関しては、どのように進めるのか。実印が必要な文書まで対象になるのか。

事務局 実印が必要な手続きなどは国も除外している。どこでも買える印鑑に意味がないため、署名があれば不要とするなど一定の基準を設ける。

■議事2： その他

【事務局より説明】

5 閉会